

「ディスクカバー農山漁村の宝」
第6回選定以降に向けた提言

「ディスクカバー農山漁村の宝」有識者懇談会座長
林良博

令和元年6月7日

有識者懇談会委員の主な意見

- 集落以外の取組、個人を評価することができるという。
- 農業を支えているのはフリーランスの個人事業者。個人に光が当たることは良いことで、若者たちが目指す存在となる。
- ディスカバー農山漁村の宝で若い人を選定していくのが、若い人たちにとって非常にやる気につながるのではないか。
- 若者や女性の活躍に期待しており、語り手となるような存在になってほしい。
- 「ディスカバー農山漁村の宝」のブランド力を向上させて価値を高めることで、地域が一体となり取り組むようになれば良い。
- PRに関してはSNSを活用し、若者など色々な人と繋がりを持ち、それをうまく使って、もっとオープンにPRをして知名度向上を図るべき。
- 一般の方の認知度がまだまだ低い。SNSを活用して若者を取り込んで、認知度を向上させていくべき。

「ディスカバー農山漁村の宝」第6回選定以降に向けた提言

【選定について】

- 賞としてのブランド力を高めるような、また一般の方に認知されやすくなるような、選定とすべき。
- 具体的には、これまでの「強い農林水産業の実現」のための農業所得の向上といった取組に加え、
 - ①個人の取組について
 - ②経済的利益がなくても地域活性化に貢献している取組について表彰するような仕組みとすべき。
- また、若い人たちに関わる取組について重視すべき。

【その他】

- 官邸での交流会等の開催や総理との写真などについては継続すべき。
- 一般の方への認知度を向上させるため、多様な手段での情報発信をするべきであり、特にSNS等を通じた継続的かつ効果的なPRをすべき。